

「お父さんの出番!」～育メン・育ジイ時代の到来～

『お父さん飛びます!!』



本日の進行役
(ファシリテーター)

*
*

このプログラムは、

子どもの**育ち**の場に**父**親たちが足を運び、

楽しみながら、子どもの**心**に気付き、

子どもの**支え**となる**つながり**を見つけていく

小さな**こころみ**です。

今! オヤジたちは本気です。

このプログラムのねらい

子どもたちの遊びや育ちの場に男性も足を運んでいくことによって、子どもたちの心の理解の幅を広げます。また、他のお父さんたちとの関係を作っていくことによって、父親の子どもを育てることの「楽しみ」を体感することにあります。

このプログラムの留意点

- すべてが時間通りに進まなくても「楽しく」できることです。しなやかに対応します。
- このプログラムでは、「人文字」や「紙飛行機」という具体的項目が立てられていますが、地域や季節、得意分野などでこの項目を変えても何ら問題はありません。

1. あいさつ 参加者の自己紹介



2. グループ編成

- 人数によって2～3組に分かれる。
- それぞれのグループで（架空の航空会社風に）組名をつくる。
例えば …『みやぎ航空』とか、『まさむね航空』などなど・・・。
- 次に親子でチーム名を決める。
例えば …『チーム育メン親子』とか『チーム早く起きよう』などなど…。



航空会社名 _____ 航空

親子チーム名 _____ チーム

3. ウォーミングアップ

各航空会社ごとに一定時間内で床に寝っ転がって人文字を作る。

- 漢字を書いたカードを各グループ16字分ぐらい用意し、壁に貼る。

例：「心」⇒1画目大人 2画目大人2人 3画目子ども 4画目子ども

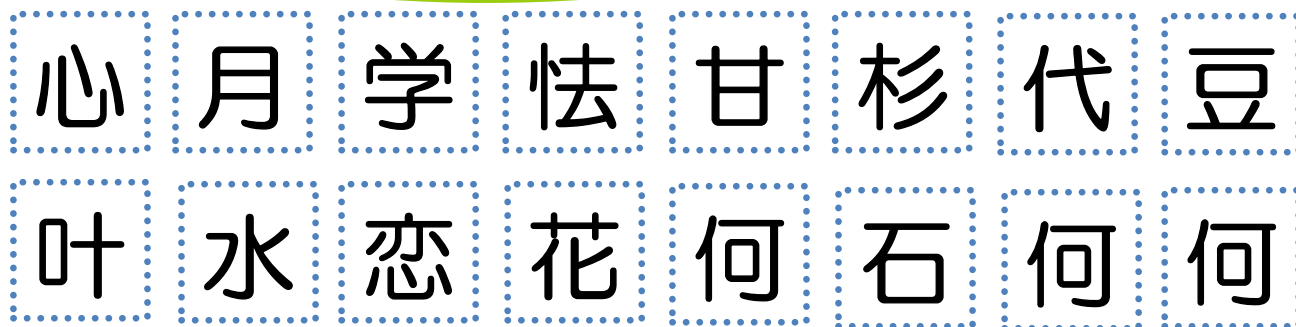


↖ 「心」

- グループ2文字分を空欄にする。
- 空欄には自分のグループの子どもの名前にある漢字を入れる。



人文字カード



ルールの説明



- ・空欄のカードには、各チームの子どもの名前から漢字を選んで書き入れる。これはそのチームしか使えない。
- ・各チームから「技術判定員」を一組（親子）を選ぶ。
- ・技術判定員は、他のチームの「判定」をする。
- ・判定員は（イスの上など）少し高い所から見下ろすと見やすい。
- ・合図と共に、壁に貼ってある文字をグループごと1枚ずつ持ってきて、人文字を作る。
- ・大人判定員が「できた」と判断したら、子ども判定員が旗を揚げる。
- ・終わったカードは、自分のチームの指定された場所に貼っておく。
- ・適当な時間でストップし、書いた文字数が最も多いグループに「拍手！！」

- 留意点**
- ・目的は勝つことではなく、楽しくやる。
 - ・けがをしない工夫をする。（はさみ・カッターの使い方）

4. 紙飛行機の製作

- ・グループごとに紙飛行機を作る。
 - ・紙飛行機に「〇〇号」と名前を入れる。
- *良く飛ぶように、重りの位置や翼の形などを調整してみよう!!

飛行機は高く飛ぶもの、すぐ落ちるもの、
まっすぐ飛ぶもの、フニャフニャ飛ぶもの等、
どんな結果もO.K!

時間があれば、色やデザインも
考えてみてね!!



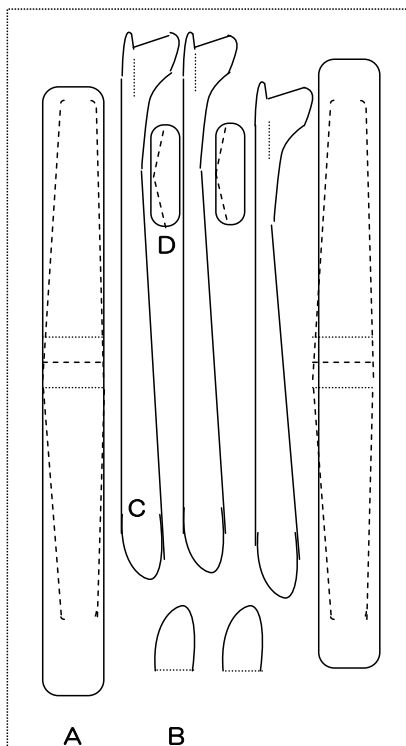
作りながらお子さんは、どんなことを話していましたか？



大人が工夫したところは？



お子さんが工夫したところは？



線のとおり
切ってね！

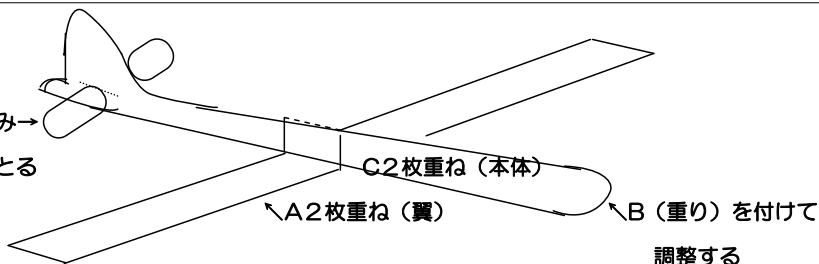
小さな子どもが
はさみやカッターを
使うときにはしっか
り見てね！

君だけの紙飛行機を
作ってみよう！！



<完成図>

Dをさしこみ→
バランスをとる



5. 飛びます！

- ①広いところに出て、グループごとに紙飛行機を飛ばす。(少し高い所から)
- ②機長のあいさつ「△△△航空機会社 チーム□□□が ○○○号 を飛ばします！」
 「工夫したところは◇◇◇です。○○(子どもの名前)と○○(親の名前)の夢を乗せて
 飛びます!!」(※ワイヤレスマイクなどがあるとよい)

さあ!飛びます!!

6. まとめ

近代日本の父親たちは、誰もが男は家庭を忘れて働くものだと思って育ってきたようです。社会の体制が変わり、価値観が変わったり、それでもなかなか父親たちは帰ってはきませんでした。「父親不在」「お父さんの背中が見えない」などと言われ何十年たってしまったのでしょうか。それを聞いたたびに私たちのじくじたる思いは続いているのです。

「私たち父親、おやじ、お父さん、そしてパパが、少しの時間でも家庭に、育児にもどり、地域に出かけ、子どもたちや家族がくらししていく地域にシなくてはならないのだ」ということを考えています。いま!オヤジたちは本気です!